



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary club district 2720 rotary international

R.I. 会長テーマ

「世界に希望を生み出そう」 R.I. 会長 ゴードンR・マッキナリー

2023～
2024年度
テーマ

R.I.2720地区テーマ

「ロータリーは学舎であり、遊び場である」
「そして、ロータリーアクションは世界を変える」

R.I. 2720 地区 ガバナー 膳所和彦

熊本G.R.C.テーマ

「奉仕の輪を広げよう」

熊本グリーンRC会長 江上泰弘

世界に希望を生み出そう



■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：江上泰弘 ■幹事：山口 翼 ■会報担当：西本周平
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

第 1516 回

2023 - 2024 年度 第 31 回

令和 6 年 4 月 8 日

【例 会】

・「奉仕の理想」(ロータリーソング)

1. 閉会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

来訪者紹介 (江上 泰弘 会長)

なし

会長スピーチ (江上 泰弘 会長)

今晚は。昨日は地区協議会へ出席された皆様お疲れさまでした。次年度に向けての三村がバナーエレクトの熱い思いを感じました。

これからは、クラブ内でも次年度の各委員会で家庭集会等、次年度に向けての動きが活発になっていくと思います。ガバナーや会長の方針に沿って話し合いが始まります。ところで、家庭集会とは家族も含めロータリーについて話し合い会員の親睦を図るために行う集まりです。私の入会当時は、各委員長さんのご家庭で委員会の方針を話し合われていたようですが、会場になった奥様のご負担が気がかりでした。

今後、クラブ内で色んな話し合いの時間が必要となりますが、お忙しい仕事と

の時間の都合をつけて新年度に向けて進んでいきましょう。

幹事報告 (山口 翼 幹事)

＜例会変更・取り止め＞

●例会変更

[熊本東 RC]

4月16日(火)の例会は、職場訪問のため、当日12:30より「瑞鷹」にて行います。

[熊本西南RC]

5月16日(木)の例会は、年祝い例会のため、同日 18:30 より「青柳」で行います。サインメーキャップはいたしません。

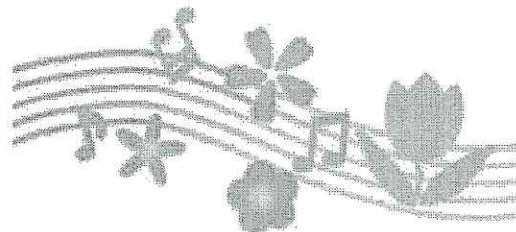
●例会取り止め

[熊本東 RC]

4月30日(火)の例会は、定款第7条第1節に基づき、取り止めます。

[熊本西南 RC]

5月2日(木)と9日(木)の例会は、定款第7条第1節に基づき、取り止めます。サインメーキャップはいたしません。



グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。

というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

卓 話 予 定

4/15 「地区・研修協議会報告パート2」
4/22 河島一夫会員卓話
4/29 祝日休会
5/6 祝日休会

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

出席報告

(クラブ管理運営 荒木 一之 会員)

	会 員 総 数	21名	出席率
4 月 8 日	出席免除会員数	0名	38. 10%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	6名	
3 月 11 日	前回の出席会員数	13名	61. 90%
	メイクアップ数	0名	
	修正出席会員数	13名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
な し			

スマイル

(クラブ管理運営委員長 宮部 康弘 会員)

●江上 泰弘 君

「私の年度で新記録を作ってしまったかもしれません。出席者が6名みたいです。次週は2人分の元気を出して出席します。」

●栗山 義則 君、宮部 康弘 君、荒木 一之 君

「昨日の地区研修・協議会参加された方々、お疲れさまでした。本日の報告者も宜しく願い致します。」

3. 例会プログラム

「地区研修・協議会 報告」PART 1

- ・管理運営部会 荒木一之会員
- ・公共イメージ部会 河野景治会員
- ・社会奉仕部会 田中純司会員
- ・ロータリー財団部門 江上泰弘 会員
- ・会長部会 宮部康弘 会員

●管理運営部会 荒木一之会員



2024 年度 4 月 7 日に地区研修協議会に参加してまいりました。

管理運営部門では、部門長村田 優子委員(人吉中央 RC) の下で「会員ひとりひとりの顔を思い浮かべて~きずなの強化」を管理運営部門のテーマとされました。

【活動方針】

- 1.DEI(多様性、公平性、包摂)に基づくクラブ運営の情報提供およびサポート
- 2.クラブ活性化のための戦略計画立案サポート
- 3.出前セミナーの実施

【テーマ】

- ① 規定審議会。定款の理解とクラブ細則への反映
- ② My Rotary への登録。活用方法について
- ③ クラブ戦略計画。クラブビジョン策定サポート
- ④ 会員オリエンテーション

の内容を説明いただきました。管理運営部門は「ロータリーの今」を会員に伝え、会員一人ひとりが奉仕活動に専念できるようにサポートする事とありました。出前セミナーなどを通じて管理運営部門の活動を会員に伝えていく予定です。

●公共イメージ部会 河野景治会員



熊本城ホール 3 階 E1E2 室にて定刻開始
司会・進行:

2720 地区 部門長 波佐間英樹(熊本中央 RC)
副部門長 松尾 巧(由布院 RC)

公共イメージ向上部門の活動方針

「ロータリー活動を伝えましょう!」

現状報告(事例報告)

求められる活動

一般の方に『ロータリークラブとは何か』『他の団体とどう違うのか』『なぜロータリークラブは大切なのか』を理解してもらうという課題のもと、ロータリークラブを人々に伝える方法を考え直す必要性があります。『知られていないことは、存在しないことと同じ』であり、どんなに素晴らしい活動を行っても、これが広く一般の方々に伝わらなければ、ロータリークラブの存在価値は向上せず、各種活動への協力は得られず、意欲に溢れた人材も集まらないと言うことを 共通認識とした、積極的な広報活動が不可欠だと思います。ロータリープライド(高潔性と倫理)を守りつつ DEI(ダイバーシティ多様性・エクイティ公平性・インクルージョン包括性)も推進していく。

委員会活動

1. 出前セミナー『各投稿の仕方』
2. 出前セミナー『ロータリーの友アーカイブス活用方法』
3. 出前セミナー『ロータリークラブって何って聞かれたら』
4. 出前セミナー『マイロータリーの活用方法』
5. 出前セミナー『チャットプレスリリースの書き方』
6. 出前セミナー『チャット GPT の活用方法』
7. ホームページの推進・更新の促進
8. テレビ局・新聞社への依頼先の一覧
9. ロータリーブランドの徹底
- 10.九州四地区 連携 DX 推進

●社会奉仕部会 田中純司会員



2024~2025 年度国際ロータリー第 2720 地区の「地区研修・協議会」出席の報告をいたします。全体会議は 10 時から行われ、午後からの部門別研修・協議会が 1 時過ぎから開催され、私は社会 奉仕部門(社会奉仕委員会)に出席しました。

社会奉仕部門(社会奉仕委員会)は追立武部門長を中心に行われ、地区活動重点項目として「ロータリーのことを知ってもらおう」・「ロータリーの今をロータリアンに知ってもらおう」・「ロータリーのことを社会に知ってもらおう」の 2 項目を挙げられていました。次に、社会奉仕部門の役割は、(クラブの奉仕活動を主導し、地域の地域社会の人々を援助する教育的、人道的プロジェクトの計画と実施を支援する。プロジェクトのライフサイクルに沿って、ロータリーのオンライン ツールを活用して活動の計画・実施・評価を行うよう、クラブに奨励する。地区補助金プロジェクトの活用事例の紹介を行う。)との説明がありました。引き続き、RCC(ロータリー地域社会共同体)の活動について追立部門長、吉岡副部門長から事例 紹介があり、子ども食堂支援については山角委員長、姫野委員から具体的事例の話がありました。RCC とは、簡単に言うと、ロータリアン以外の 10 人以上がメンバーとなり、毎月 1 回以上の会合を開き、毎年 2 つ以上の主要プロジェクトを実施する奉仕活動です。詳細は、社会奉仕部門の 出前セミナーを行ってもらい、そこで、RCC・子ども食堂の話を聞きたいと思っています。

●ロータリー財団部門 江上泰弘 会員



活動方針

ロータリー財団は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすこと通じて、世界理解、親善、平和を達成できるように支援する。

活動計画

1. 最優先事項であるポリオ根絶に向けて、各クラブの世界ポリオデーイベントを支援する。
2. 財団の各補助金、財団の基礎知識等、セミナーを通して理解を促進する。
3. ロータリー財団(日本)の目標を達成する。

年次基金

- ・ 1人当たり 150 ドル以上
- ・ 寄付 0 クラブゼロ達成を継続する
- ・ ポール・ハリス・ソサエティの推進(目標 30 名)"

ポリオプラス基金、

- ・ 1人当たり 30 ドル以上、
- ・ ポリオプラス・ソサエティの推進(年間 100 ドル)

4. 奉仕活動の推進

- ・ グローバル補助金・地区補助金の活用の促進
- ・ ロータリー平和フェローシップの推進
- ・ RAC への補助金の活用について推進
- ・ ロータリーカードの推進(個人カード・ビジネスカード)

●ガバナー補佐・会長部会報告 宮部康弘 会長
エレクト



三村ガバナーエレクト挨拶：三村ガバナーエレクト

公式訪問での質問事項について

会長と役割と責務について：硯川ラーニング
ファシリテーター

- ① 3-year targets を年度末までに完了依頼
- ② 3-year targets のマイロータリー内クラブセントラル導入については未定
- ③ 3-year targets が導入されるまでの間は紙資料にて対応依頼(配布)

グループディスカッション：山田ガバナー補佐

- ◆ 6 月中に各クラブに挨拶回りを行う
- ◆ ガバナー補佐公式訪問はクラブ協議会と同日に行う。各クラブにおいて協議会の日程が決まり次第ガバナー補佐へ連絡する。

◆ 7 月 17 日第 2 回会長幹事会の実施

◆ IM について

日時:11 月 26 日 18:00~21:30

場所:ホテルキャッスル

内容:硯川ラーニングファシリテーターの講話、
入会 5 年未満の会員卓話、親睦会

4. 閉会・点鐘